

# 「地域包括ケア病棟オープン」のお知らせ

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域医療連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)

～公立阿伎留医療センターの地域での新しい役割が始まります～

企業長・院長 荒川 泰行

公立阿伎留医療センターは、急性期病床からの患者さんの受け入れ、在宅等の患者さんの緊急入院、そして在宅への復帰支援の3つの機能を担う「地域包括ケア病棟」を7月1日より、下記の運用要領でオープンいたしますので、お知らせいたします。

併せて、地域医療連携センター内に「入院支援管理室」を設けて、専従看護師2名を配置して、患者支援とマネジメント（PFM）機能の充実を図るとともに、秋川流域の「地域包括ケアシステム」の推進と医療・介護の切れ目のない連携に貢献して参ります。

## 1 地域包括ケア病棟を開設します。

平成 26 年度診療報酬改定時において、医療介護総合確保法と地域医療構想に沿って、団塊の世代が 75 歳を超える「2025 年の医療需要」を予測して、地域に適合した医療機能の分化、連携の推進による医療提供体制の効率化を進める目的で、「地域包括ケア病棟（病床）」が新設されました。

公立阿伎留医療センターでは、これを受けて、平成 28 年 7 月 1 日より、4 階西病棟（43 床）を「地域包括ケア病棟（病床）」として運用することにしましたので、お知らせいたします。

地域包括ケア病棟総括部長 北森 要一郎（生活習慣内科部長兼務）

地域包括ケア病棟看護科長補佐 薬袋 みない 知子

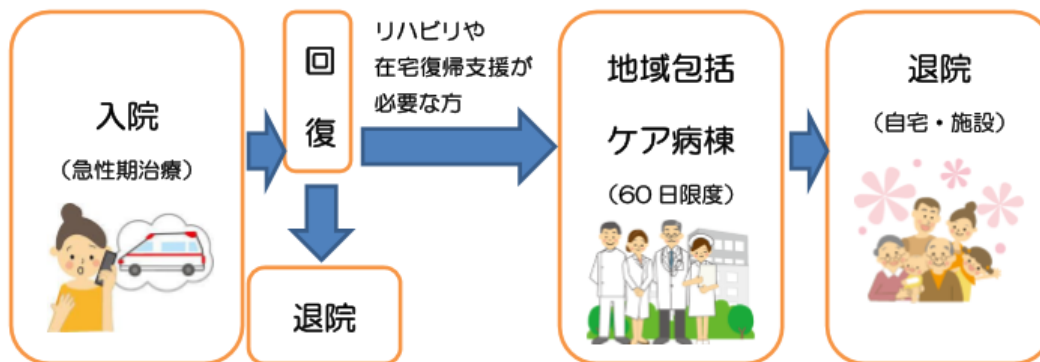
（病室） 個室 7 床、 4 人室 36 床 合計 43 床

## 2 地域包括ケア病棟とは？

地域包括ケア病棟は、在宅療養の支援を大きな柱とした“地域包括ケアシステム”を構築する上で、地域にとって有効で、利便性の良い病床区分であります。

通常、急性期病床での治療が終了し、病状が安定しますと退院となりますが、すぐに在宅復帰、また元の施設に戻ることに不安がある患者さんについては、しばらくの間入院療養を継続し、在宅等への復帰に向けての準備を整え、安心して、地域にお戻りいただけるようお手伝いをするを目的とした病棟です。

その場合、在宅復帰をスムーズに行うために、「在宅復帰支援計画（在宅復帰支援に関する事項）」に基づいて、主治医をはじめ看護師、専従のリハビリテーションスタッフ等が協力して、効率的に患者さんの在宅復帰支援に向けた準備と相談、支援を行っていきます。



## 3 地域包括ケア病棟の対象患者さんは？

地域包括ケア病棟への入院となる患者さんは、

- ① 急性期病床での治療が一段落し、在宅療養に戻るまでのリハビリを必要とする患者さん
- ② 在宅療養中の患者さん、または施設入所者が、通常の軽度の病気を発症して、緊急の入院治療が必要と判断される患者さん
- ③ 介護者の体調も考えたレスパイト入院 等様々な患者状況に応じて、病床機能を発揮できます。

特に、在宅・施設復帰予定で、急性期病床での入院治療により症状が改善、安定した後、もう少し経過観察や在宅の療養準備が必要な方については、主治医が判断し、患者さん及びご家族に提案し、ご了解をいただいた場合、地域包括ケア病棟に移動していただき、継続入院となります。

※ 地域包括ケア病棟へ直接入院となるか、一般病棟から転棟となるかは、主治医が判断し、ご提案させていただきます。

※ 入院期間は状態に応じて、調整しますが、原則として、転棟してから**60日**までとなります。

## 4 入院費用について

「地域包括ケア病棟入院料1」と各種加算を合計した額になります。基本的に、包括払いになりますが、内容により、一部自己負担が生じる場合があります。なお、後期高齢者（75歳以上）の方は、月の上限がありますので、一般病床時と大きな変更はありません。詳細は、医事課入院係にお尋ねください。



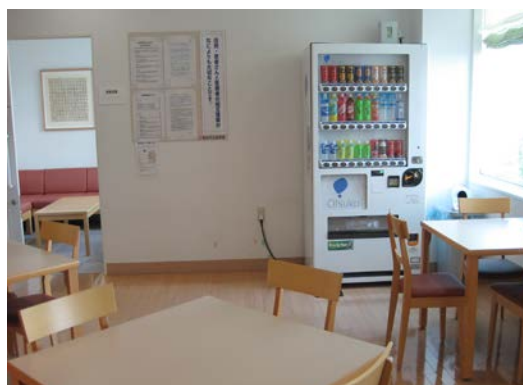
4床室



個室



病棟全景



デイルーム

### 【お問い合わせ先】

地域医療連携センター

電話 042-(558)-0321 (代表)

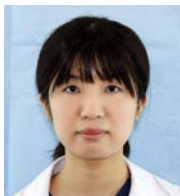
FAX 042-(559)-5734 (直通)

問い合わせ…蓑島、下村 (看護師)



## I 新任医師紹介

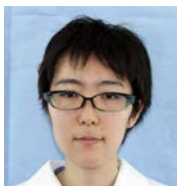
平成28年度も早3ヵ月が過ぎましたが、改めて新任医師のご紹介をさせていただきます。



馬場 有加（耳鼻咽喉科 帝京大学 2008年卒）耳鼻咽喉科専門医  
今年の4月から埼玉医科大学総合医療センター耳鼻科より出向しております馬場と申します。常勤医は1人ですが、手術日は埼玉医大からお手伝いに来てもらい2人体制で鼻や声帯ポリープなどの手術を中心に、行っております。  
また、アレルギー性鼻炎の日帰りレーザー手術もしております。耳鼻科領域でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、今後ともご紹介をよろしくお願いいたします。



そえだ  
副田 翔（産婦人科 富山大学 2010年卒）  
本年4月より、産婦人科に勤務させて頂いております。主に産科で、無痛分娩に対応しております。日本大学や麻酔科で学ぶ機会を与えられ、感謝しております。安全なお産を提供できるよう努力致しますので、よろしくお願いいたします。



日高 綾乃（外科 日本大学 2013年卒）  
本年4月より、赴任しました。卒後4年目という若輩者ではございますが、精一杯あきる野周辺の医療に尽力したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## II 秋川歯科医師会講演会について

平成28年4月23日（土）の午後2時よりあきる野ルピアホールにて、第7回秋川歯科医師会市民講座が開催され、当医療センターの荻野靖人歯科口腔外科長が「口腔がん かかりつけ歯科で検診早期発見」をテーマに講演を行いました。

当日は、43人の参加者が熱心に耳を傾けており、終了後にも、多くの方から、質疑応答がされ、関心の高さがうかがえる有意義な講演会となりました。



荻野科長



葉山会長



荒川院長

